VERA入来観測局施設公開報告

面高俊宏（鹿児島大学・理学部長）

8月5日、国立天文台VERA望遠鏡、鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡、農学部牧場の施設公開が、「八重山高原星物語」と合わせて開催されました。

このイベントは薩摩川内市を初め、地域の人々と実行委員会を作り準備されてきたものです。当日は好天に恵まれ、鹿児島市から30kmと離れている場所に関わらず、昨年を1000人も上回る3500人の参加者となりました。大半が小学生連れの親子ですが、常連の往年の方も目立ちました。アンケートの結果でもリピーターの数がかなり増えており、このイベントが科学の祭典として地域に定着してきたようで、とてもうれしく思います。

今年もアンテナツアーや観測機器の紹介は好評で、VERA計画やアルマ計画、JAXAについてのミニ講演会は、熱心な聴衆からの質問で大いに盛り上がりました。子供たちは科学実験コーナーに群がり、200人の鹿児島大学、国際大学、鹿児島純心女子短期大学、鹿児島純心女子大学の学生たちによるペットボトルロケット作り、粉塵ロケット、スライム、凝固点降下の実験など多くの理科実験に熱心に取り組んでいました。

夕方からは1m光学望遠鏡までの道沿いに200mにわたって灯篭に灯が点り、夜の部が開始されました。1m望遠鏡は大人気で長い行列ができました。人々は都市部では見られない白くたなびく天の川の姿に感激し、望遠鏡で見える惑星や星雲に宇宙のロマンを感じ家路につきました。

▲会場は好天に恵まれ、お祭り広場の雰囲気です。

▲「うわ、大きく見えるけど逆さまだ！」「早く夜にならないかなー」

今年のポスターも好評でした！

▲ VERA20メートル電波望遠鏡と鹿児島大学1m光赤外線望遠鏡のツーショット。